

きたかみちゅうぶ こうぎょうようすいどう
北上中部工業用水道
 (第一浄水場、第三浄水場)



北上工業団地への工業用水の供給

【第一浄水場 (旧北上中部工業用水道)】

北上工業団地内の立地企業へ工業用水を供給するため、20,000m³/日を北上川表流水に水源を求め、浄水処理した上で、18,600m³/日の工業用水を供給するもので、北上市上水道事業 (現岩手中部水道企業団、取水量20,000m³/日) と共同施行し、昭和53年5月に給水を開始しました。

また、半導体製造企業の進出に伴い、濁度等の低いより良質な処理水を供給するため、北上急速ろ過施設を建設し、昭和59年7月に給水開始しました。

【第三浄水場 (旧第三北上中部工業用水道)】

増加する北上工業団地の工業用水の需要に対応するため、北上川水系稗貫川に建設された早池峰ダムに21,600m³/日の水源を求め、浄水処理した上で、平成4年4月に10,000m³/日で一部開始し、平成15年1月1日の工事完成に伴い、20,000m³/日で給水を開始しました。

【事業統合】

さらなる安定供給能力の向上のために、平成19年4月に、北上中部工業用水道と第三北上中部工業用水道の事業統合を行い、第一北上中部工業用水道と名称を改め、給水能力を38,600m³/日としました。

平成24年5月には、第二北上中部工業用水道事業に水源の一部を転用したことにより、現在の給水能力は37,293m³/日となっています。

令和3年4月からは、第一北上中部工業用水道と第二北上中部工業用水道事業を事業統合し、北上中部工業用水道として給水を行っています。

	第一浄水場 (旧北上工水)	第三浄水場 (旧第三工水)	北上ろ過施設
水源	北上川表流水	北上川表流水 (早池峰ダム)	
取水地点	北上市二子町坊館		
浄水場所在地	北上市北工業団地		
浄水場敷地面積	17,000m ²	10,000m ²	2,991m ²
取水量	20,000m ³ /日	20,100m ³ /日	
給水量	18,600m ³ /日	18,693m ³ /日	内8,000m ³ /日
建設期間	昭和50~53年度	昭和61~平成14年度	昭和58~59年度
建設費	1,084,276千円	6,189,043千円	522,653千円
給水対象区域	北上工業団地		
給水開始	昭和53年5月10日	平成4年4月1日	昭和59年7月13日
給水能力	37,293m ³ /日		



県南施設管理所に10kWの太陽光発電設備を設置しています (平成26年設置)。発電した電気は全て施設内で使用され、電力使用に伴う環境負荷低減に貢献しています。



- 第三浄水場 (旧第三工水) 取水口 (写真左)
- 第一浄水場 (旧北上工水) 取水口 (写真中央)
- 新北上浄水場取水口 (写真右)



第一浄水場 (旧北上工水) 管理棟

きたかみちゅうぶ こうぎょうようすいどう
北上中部工業用水道
 (新北上浄水場)



北上工業団地への工業用水の供給

岩手県では、県内人口の減少の要因となっている若年層の県外転出等に歯止めをかけるため、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を創出しようと、企業誘致を積極的に進めており、北上工業団地に新たな企業が進出し、今後の規模拡大や関連企業の更なる立地が期待されます。

これに伴い、北上工業団地における工業用水需要の増加が見込まれることから、北上川水系雫石川にある御所ダム (盛岡市繫) に64,800m³/日の水源を求め、浄水処理した上で、最大60,264m³/日の工業用水を供給するもので、令和5年4月に20,088m³/日の給水能力で一部給水を開始しました。今後も、需要の増加に応じて、段階的に施設を整備していきます。

新北上浄水場は、狭い用地でも良好な浄水処理を実現するため、サイホンによる脈動式高速凝集沈殿池 (下のフロー図参照) を採用しています。

	新北上浄水場
水源	北上川表流水 (御所ダム)
取水地点	北上市二子町坊館
浄水場所在地	北上市二子町坊館
浄水場敷地面積	33,000m ²
取水量	64,800m ³ /日
給水量	60,264m ³ /日
建設期間	平成30~令和10年度 (予定)
建設費	約196億円
給水対象区域	北上工業団地
給水開始	令和5年4月 (一部給水開始)
給水能力	20,088m ³ /日



新北上浄水場建設中の様子

